

K 広報くにみ Kunimi

Sep.2021
No.578

9

家族と過ごす、「夏の思い出」

Contents (主な内容)

- ② 国見町希望の光プロジェクト 2021
- ⑤ 市町村対抗野球国見町チーム紹介
- ⑥ 地域おこし協力隊着任
- ⑩ まちのわだい
- ⑯ まちの情報ボックス



家族と一緒に忘れられない夏の思い出を 国見町希望の光プロジェクト 2021

町内3か所から同時に打ち上げられた花火

「国見町希望の光プロジェクト2021」が8月7日に行われ、夏の夜空に鮮やかな大輪の花火が咲き誇りました。昨年引き続き行われたこのプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の影響により、ステイホームを余儀なくされている皆さんに「夏の思い出」を作ってもらうため、町商工会が企画。町内のどこからでも鑑賞できるよう、打ち上げ花火を3か所から同時に打ち上げました。また、打ち上げ場所を非公開とするこゝとで「三密」を防止し、自宅や自宅付近から家族と一緒に楽しんでもらえるような工夫も行いました。

コロナ禍のなか、「悪疫退散」の祈りが込められた大輪の花火が、重く息苦しい雰囲気吹き飛ばし、町民の皆さんが素敵な「夏のひととき」を過ごすことができたのではないのでしょうか。

みなさんに少しでも上を向いてほしい

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来型の人が集うイベントがことごとく中止に追い込まれました。日常生活で感じる閉塞感を少しでも取り払い、特に夏休み中の子どもたちのストレスを少しでも軽減し、家族みんなで楽しめるよう「国見町希望の光プロジェクト2021」を企画・開催しました。感染防止対策で制限の多い中、下を向きがちな毎日ですが、このイベントが悪疫退散と新型コロナウイルス感染の1日でも早い収束を願い、町民がみんなで夜空を見上げ、心をひとつに「絆」が結ばれた日になったのであれば幸いです。

コロナ不況下でありながら、ご協力いただきました町内外の協賛者の皆さまに感謝申し上げます。



国見夏まつり実行委員会
委員長 遠藤 和則さん



桜の聖母学院中学校1年
愛宕 五十嵐さん

今年も夏の思い出ができました

自宅の近くで、たくさんの花火を間近に見られて良かったです。周りには家族しかいないので、安心してゆっくりと花火を見ることができました。きれいな花火を見て元気をもらえ、夏休みの思い出ができてうれしかったです。来年も、家族と一緒に花火を見たいと思います。



大輪の花火が夜空を彩りました

「おうち時間」のお供に

町商工会（商業部会）は、打ち上げ花火を自宅から家族全員で楽しめるよう、町内事業者のオードブルやお刺身盛りなどの「お”HANABI”セット」の注文・宅配に取り組みました。注文された商品は、商工会青年部員がそれぞれのお宅までお届けしました。

渡邊匡紘商工会青年部長は、「夏休み中の子どもたちや、家事に忙しいお母さんたちもゆっくりと、くつろぎながら「お”HANABI”セット」を食べて、打ち上げ花火を楽しむことができたのではないのでしょうか。開催にご協賛いただいた企業の皆さんや商工会員の支えのおかげです。」と、感謝の言葉を述べていました。



「お”HANABI”セット」を手渡す部員



自宅のベランダから見上げる花火

練習の成果を発揮し目指せベスト 8 !!

— 市町村対抗福島県軟式野球大会 国見町チーム紹介 —



チーム一丸となって勝利を掴み取ります!!



福島県内の市町村間の交流や軟式野球のレベル向上を目的とした「第 15 回市町村対抗福島県軟式野球大会」が、9月4日に開幕しました。

今年のチームは昨年に引き続き、安藤雅規監督のもと、主に 20 代の若い選手で編成されています。新メンバーも加入し、これまでの経験と新戦力の融合による新たなチーム作りを目指し、練習に取り組んでいます。

国見町チームの初戦は 9 月 11 日に「ほばら大泉球場」(伊達市)で棚倉町と対戦します。

みんなで国見町チームを応援しましょう!!

出場選手

背番号	位置	氏名	背番号	位置	氏名
	代表	佐久間裕明	4	内野手	安藤 祥都
30	監督	安藤 雅規	5	内野手	服部 琢弥
10	主将	松浦 昭太	6	内野手	菅野 歩夢
1	投手	齋藤 奨	16	内野手	鈴木 俊大
11	投手	佐藤 克彦	28	内野手	佐藤 哲也
12	投手	阿部 浩士	29	内野手	川名 敦
17	投手	齋藤 翔	8	外野手	高野 陽呂
18	投手	高橋 薫	13	外野手	中木 秀悟
19	投手	佐藤 玲温	15	外野手	阿部 仁洋
2	捕手	佐藤 健郎	20	外野手	村上 正幸
21	捕手	滝澤 瑞希	24	外野手	本田 直也
22	捕手	佐藤 空大	25	外野手	大竹 由樹

国見町チーム監督

安藤 雅規さん



今年は新戦力が 2 名加入し、若手選手を主力としてチーム編成をしています。投手力を中心に手堅く守りを固め、守備からリズムを作りたと思っています。相手の隙をつき、チャンスをものにして勝利をつかみたいです。

コロナでの暗い雰囲気吹き飛ばせるよう、町民の皆さんに明るい話題を届けたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。

「国見町の火」にエールを込めて

— 国見ジュニア応援団が聖火の種火おこし —



1_ 思いを込めた「国見町の火」2_ 慣れない火おこしに悪戦苦闘3_ 種火を消さないように…4_ 四季の里(福島市)で行われた「中通りの火」の集火式5_ 種火を納めたランタンと種火を保存するカイロ

東京 2020 パラリンピックの「種火おこし」が 8 月 12 日、観月台文化センターで行われました。

当日は国見ジュニア応援団の団員 5 名が参加し、古来の伝統的な手法である「舞切り式火おこし」で採火しました。団員たちは慣れない火おこしに苦戦している様子で、「煙は出るのに種火がおきない」「腕が疲れてこれ以上回せない」という弱気な声も聞かれましたが、あきらめずに挑戦を続け、なんとか種火をおこすことに成功しました。おこした種火は「国見町の火」として、団員たちの手で用意された移送用のランタンに納められました。

「国見町の火」は、県内 59 市町村で作られた種火とともに、8 月 15 日に行われた集火式(郡山市)で「福島県の火」としてひとつとなり、東京に送り出されました。全国各地から集められた種火は統合され、24 日に開幕した東京 2020 パラリンピック会場の聖火台に灯されました。



未来の自分を思い描いて

— 県北中学校美術部生徒が「自分の足」を制作 —



1_ 未来の自分を想像して制作 2_ 細かい部分まで繊細な作業を行う 3_ 完成した未来の「自分の足」

9 月 11 日から群馬県中之条町で開催予定の「中之条ビエンナーレ国際現代芸術祭 2021」に、県北中学校美術部の生徒が制作した「自分の足」が展示されます。

この芸術祭は、2007 年から 2 年に 1 度開催されているアートイベントです。国内外のアーティストが中之条地域に滞在しながら作品を制作することで、地域とアーティストが共に歩み、作品が展示される舞台を共同で作ります。

生徒たちは、自分がこれからのように生きていくのか、大人になった自分を想像し「未来の足」を制作。生徒一人ひとりが未来の自分と真剣に向き合いながら、夢中で制作した素晴らしい作品が完成しました。



「ロケット」をテーマにした特別授業

— 放課後塾ハル小学部がイベントを実施 —

放課後塾ハル小学部は特別授業として、テーマ学習「ロケット編」を8月21日に国見小学校体育館で行いました。

当日は国見小5・6年生17名が参加。株式会社Funding Baseの新免琢弥さんが講師を務め、宇宙や無重力、ロケットの仕組みや日本の宇宙開発の父と呼ばれた糸川英夫氏の生涯を学びました。

放課後塾ハルのメンバーも協力し、ペットボトルロケットも制作。子どもたちは講師やスタッフの説明を真剣に聞き、ロケットを遠くまで飛ばせるよう、集中



1_水しぶきを浴びながらの打ち上げ
2_講師の話に耳を傾ける児童たち
3_集中してロケットを制作
4_誰が一番遠くまで飛ばせるかな



して制作に取り組んでいました。打ち上げは国見小の校庭で行われ、勢いよく水と空気を噴き出しながらロケットが打ち上がると、子どもたちからは大きな歓声が上がりました。

放課後塾ハル小学部は8月25日から小学5・6年生を対象に授業を開始し、約40名の小学生が週1回の授業を受講します。算数などの教科だけでなく、自分たちの興味関心のあるテーマについて、より深く学ぶ「テーマ学習」など、子どもたちの探求心や興味・関心を育てる授業も行われます。

「放課後塾ハル」に新しい仲間

— 新たに地域おこし協力隊が着任 —

国見町地域おこし協力隊の着任式が8月2日、国見町役場で行われました。新たに着任した逢坂巴菜子さんは、6月に開塾した「放課後塾ハル」中学部の授業を担当します。

逢坂さんに、今後の活動内容や抱負を聞きました。

■町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは

学校や家庭ではない「第三の場所」を作りたいという夢がありました。その夢を叶えられると思ったのが地域おこし協力隊、そして公営塾での活動でした。生徒の伴走者として生徒が持つ「目標」「夢」を共に模索し、そしてそれらを最大限に広げていきたいと思い応募しました。

■今後の活動について教えてください

まずは放課後塾を通し、生徒たちの学力向上に貢献したいです。そして学力の向上だけでなく、勉強の先にある生徒たちの「目標」「夢」を一緒に作り上げ、自走していけるように応援したいです。そして個人的なことではありますが、自分自身が第一に国見町のファンになり、町の良さを発信していけたらと思っています。

■町の皆さんへひとことお願いします

国見町に来てまだ間もないですが、人の温かさそして豊かな自然がとても素敵な町だと感じています。これからより多くの町の良さを知り、発信していきたいと思っています。今は分からないことだらけですが、焦らず着実に活動をしていきたいです！

町の皆さん、町内で見かけたときは是非お声がけいただけると嬉しいです。



地域おこし協力隊
逢坂 巴菜子さん

おおさかはなこ・根室市出身(23歳)
MonashUniversityAustralia(リベラルアーツ学部)卒業。学生時代は日本人生徒や海外生徒の問題解決型学習のサポートなどを行う。
趣味は映画観賞・音楽鑑賞



えんどう ふうな



たんの ゆうり



さとう さほ



かみかんだ そうた

くにみ幼稚園 「花火」(年中組)

心なまなオたさ



地域おこし協力隊
矢部 高士

地域おこし協力隊活動日記 vol.12

子どもたちの可能性を信じて



こんにちは、地域おこし協力隊の矢部高士です。この国見町に移住して早5か月が経ち、いろいろな所で国見の良さに気づく日々です。先日は町の特産である桃をいただき、思わず舌鼓を打ちました。

現在、私は「放課後塾ハル」のスタッフとして従事させていただいており、数学を教えています。6月に開塾した「放課後塾ハル」も2か月が経ち、今は中学3年生が受験に向け、週2日で夏期講習に通い、学習に励んでいます。また、秋口からは中学1年生と2年生の受け入れを開始するために準備をしています。



私は、「放課後塾ハル」で授業や面談を通して、国見の子どもたちは素直でまっすぐである印象を受けました。その上で抱くものは、一人ひとりの可能性を広げてほしいという思いです。そのためにも、まずは私自身が可能性を信じて、生徒と伴走したいと考えています。

まだ至らぬ点は多くありますが、日々活動に励んでまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



蓮特集!! ～国見の新たなシンボル「中尊寺蓮」とこれから～

今月は蓮の管理を行っている一般社団法人二重堀サポートネットワーク理事の氏家博昭さんにお話を伺いました。

<国見の蓮の始まり>

平成20年に町の文化財ボランティアの研修で岩手県平泉町を訪れた際に、中尊寺蓮があると説明を受けました。それがきっかけで、翌年4月に中尊寺蓮の株を15本譲り受けることになりました。

初めの2年間は桶で育てていましたが、平成23年4月に田んぼ3アールに50本ほど植えたところ、田んぼいっぱい咲いたため、以後順次増やしていきました。

<蓮の種類>

あつかし千年公園の蓮池には、実は2種類の蓮が植え付けてあります。平泉文化遺産センターからいただいた「大池蓮」と中尊寺からいただいた「中尊寺蓮」です。公園内には10か所に蓮池がありますが、その内の2つが大池蓮で、その他が中尊寺蓮です。大きな違いは葉っぱにあります。葉の半分がツルツルしているのが大池蓮で、全体的にガサガサしているのが中尊寺蓮です。

また、蓮池周辺に設置してある蓮桶には奈良の唐招提寺蓮や、行田蓮、巨椋大島など約20種類の蓮を展示していました。



中尊寺蓮 二重堀サポートネットワーク 氏家さん

<蓮まつりを終えて～今後の展望～>

今年の蓮まつりは、来場者の分散を図るため、1か月程度期間を長く設けて開催しました。蓮池が公園として整備され、かなり人出は多かったです。ただ見てもらうだけでは蓮の魅力は伝えきれないため、蓮の育成体験や、蓮の葉を使ったハスシャワーなど蓮の伝え方にも工夫をしました。この「蓮」を生かして国見の文化や歴史の起点になるよう今後も活動していきます。町全体としても国見の蓮や公園をどのように活用していくか、皆さんに考えてもらいたいです。

以上、黒澤純也が報告しました。



歴史まちづくり Vol.51

令和3年度 中尊寺蓮絵画コンクール入賞作品展示



令和2年度一般の部 最優秀賞作品

期間 9月28日(火)～10月17日(日)

場所 あつかし歴史館

※新型コロナウイルス等の影響で変更や中止になる場合があります。

募集中 ～あつかし歴史館町民講座～

「日本の古代合戦史からみた 阿津賀志山の戦い」

日時 9月22日(火) 午前10時～午前11時30分
午後1時30分～午後3時

場所 あつかし歴史館
定員 各回15名程度 ※電話予約制

国見町文化財センター「あつかし歴史館」
国見町大字大木戸字霞原3 ☎ 024-585-4520
開館時間：午前9時～午後4時30分 休館日：毎週月曜日

働くママ・パパを応援します!! 病後児保育事業を開始

「具合は良くなってきたけれど、まだ保育所や幼稚園に行かせるのは心配…」 「もう少し保育所を休ませたいけれど、仕事が休めない…」 ということはありませんか？
そんな回復期のお子さんを専用の施設でお預かりする病後児保育事業を令和3年9月より開始しました。

■実施施設

- 伊達市立梁川認定こども園
※伊達市の施設を広域利用します。
- 伊達市梁川町字山城館 7-1 ☎ 577-0311

■利用できる日時

- 月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く）
- 午前8時30分から午後5時15分まで

■利用方法

- 利用するには、事前に登録手続きが必要です。
- ※登録方法や利用の流れについては、国見町ホームページをご覧ください。

■利用できるお子さん

- (次の条件を全て満たすお子さん)
- 国見町に居住する満1歳から小学校就学前までのお子さん
 - 病気の回復期にあるが、集団保育が困難なお子さん
 - 保護者の仕事等の都合により家庭保育が困難なお子さん

■利用料金

- 4時間以内 1回 1,000円
- 4時間超 1回 1,500円



☎伊達市立梁川認定こども園 ☎ 577-0311、国見町幼児教育課 ☎ 585-2119

まだマイナンバーカードを持っていない方はいませんか？ マイナンバーカードの申請をサポートします

顔写真の撮影や申請の手続きを職員がサポートします。
申請に必要な書類が揃っていれば、書留郵便等での受け取りも選択できます。

■申請の流れ

- ①必要書類の確認・申請書の記入
- ②顔写真の撮影（無料）
- ③約1か月後、マイナンバーカードが書留郵便等でご自宅に届きます。

■受付場所及び日時

場所：住民防災課戸籍係（緑の窓口1番）
日時：月曜日から金曜日（祝日除く）
午前8時30分から午後5時15分まで
※窓口延長日（平日木曜日）は午後7時まで

■マイナンバーカード臨時窓口

9月26日(日) 午前9時から午後4時まで

■注意点

窓口の状況により、お待たせすることもありますので、時間には余裕を持ってお越しください。

<通知カードに印字されているQRコードを利用して、ご自分でマイナンバーカードの申請ができます。>

■申請方法

- ①スマートフォンで顔写真を撮影
- ②スマートフォンで交付申請書のQRコード（二次元バーコード）を読み取る
- ③申請用WEBサイトでメールアドレスを登録する
- ④申請者専用WEBサイトのURLが届いたら、顔写真を登録し必要事項を入力して申請完了



☎住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115



来年4月の就農に向け準備を進めます

長期研修生の就農から移住・定住までバックアップ くにみ農業ビジネス訓練所で説明会を開催

訓練所長期研修生向けの説明会を8月24日に開催しました。当日は長期研修生6名が全員参加。来年4月からの就農に向け、今後のスケジュールや農地を確保するための手続きなどの説明とともに、農地や空家の情報提供を行いました。研修生は、就農をきっかけに国見町への移住・定住を希望していることから、町では関係機関等と連携しバックアップしていきます。



町民の新たな憩いの場になることが期待されます

「どぶろく特区」制度を活用 農園レストラン「彩季亭」が完成

農園レストラン「彩季亭」は8月24日に完成内覧会を行いました。「彩季亭」は、昨年に町が内閣府から認定を受けた「どぶろく特区」の制度を利用。町内で育てたコメを使用し、レストラン内で「あつかしのどぶろく」を醸造・販売します。このどぶろくは、季節の地元食材をふんだんに使った和食料理とともに提供されます。「彩季亭」は9月中旬にオープン予定です。



将来の選択肢を広げる授業を行います

子どもたちの「やってみたい」を応援 「放課後塾ハル小学部」の授業がスタート

放課後塾ハル小学部の授業が8月25日からスタートしました。国見小学校5・6年生約40名が受講、週3回に分けて少人数制で授業を行います。算数の授業を基本として、学校の宿題や子どもたちの興味関心のあるテーマを探究する「テーマ学習」にも取り組むなど、子どもたちの「学力」だけでなく、「生きる力」も育むような授業が行われます。



まずは初戦突破を目指し奮闘を誓いました

昨年以上の成績を目指し決意表明 市町村対抗軟式野球国見町チームが表敬訪問

市町村対抗福島県軟式野球大会に出場する国見町チームが、8月27日に引地真町長を表敬訪問しました。佐久間裕明チーム代表が「昨年はベスト16でしたが、今年はそれ以上を狙って力の限り全力でプレーします」と述べた後、14年ぶりに新調したユニフォームの紹介も行われました。その後、引地町長より町旗が授与されました。※5ページにチーム紹介記事



お祭りなどの地域事業で活用されます

宝くじの助成で地域活性化 徳江北町内会で法被や紅白幕などの備品を整備

徳江北町内会では、宝くじのコミュニティ助成事業を活用し、法被や紅白幕などの備品を整備しました。これらの備品は「徳江豊年盆踊り」等で使用されるほか、徳江地区の地域活性化や次世代の子どもたちへの伝統行事の継承を目的とした事業に使用されます。今回の整備により、今後一層の継続的な取り組みが期待されます。



株式会社エアウィーヴ福島工場地鎮祭の様子

国見町に新たな生産拠点を構築 株式会社エアウィーヴ福島工場地鎮祭

株式会社エアウィーヴ福島工場の地鎮祭が7月27日に行われました。同社は、マットレスパッド「エアウィーヴ」等を製造販売。東京2020オリンピックでは選手村に約2万床の寝具を導入しました。既存の生産拠点では生産需要に応じることが難しく、関東以北向けの生産拠点を構築するため、国見町に進出を決めました。工場は令和4年2月より操業予定。



宇佐見局長（右）から感謝状を手渡される引地町長（左）

県北管内トップの個人県民税収納率 15回連続で国見町に知事感謝状

令和2年度における個人県民税収納率が優良として、国見町に知事感謝状が贈呈されました。贈呈式は8月2日に国見町役場で行われ、宇佐見明良福島県県北地方振興局長から引地真町長に感謝状が手渡されました。

令和2年度の収納率は現年課税分と滞納繰越分を合わせて99.19%で、知事感謝状の受賞は今回で15回連続となります。



友だちと一緒に夏の思い出づくりができました

子どもたちの思い出づくりに 国見っ子わんぱく広場（夏まつり）

国見っ子わんぱく広場（夏まつり）が8月10・11日に国見小学校体育館で行われ、小学1年生から3年生の約60人が参加しました。夏まつり会場には射的やお菓子釣り、くじ引きや巨大迷路などたくさんの出店が並びました。

子どもたちはそれぞれに出店を巡り、景品のお菓子や手作りのおもちゃを手にとると嬉しそうに目を輝かせていました。



プレゼントされた絵本を手にする親子

親子で絵本を開くきっかけづくり ブックスタートで絵本をプレゼント

生後3か月の乳幼児を対象としたブックスタートが8月19日に観月台文化センターで行われました。当日は3か月乳幼児健診に訪れた、4組の親子に絵本がプレゼントされました。「絵本を開く時間の楽しさや大切さ」を親子で共有し実践してもらうため、この取り組みは生後3か月を迎えた乳幼児全員に対して行われています。



「じゃんけん体操」など様々な技法を学びました

介護予防活動に役立てて 地域づくり介護予防講座

地域づくり介護予防講座が8月23・30日に観月台文化センターで開催されました。町レクリエーション協会会長の鈴木道代さんを講師に迎え、アイスブレイキングの講習が行われました。各地区の通いの場や居場所等で実践できるような体操やゲームなど、参加した代表者や介護予防サポーターが実際に体験しながら技法を学びました。

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション

ニコニコ相談会

- 実施日** 11月17日(木)
- 時間** 午前10時～午前11時
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、お子さんの飲み物
- 申込み** 前日までに、ほけん課保健係又は藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 11月25日(木)
- 時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター第1和室
- 対象者** 3か月児(令和3年7月生まれ)
9か月児(令和3年1月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて

いのちを救う 愛の献血にご協力を!

9月24日(金)は国見町の献血の日です。

日程	場所	受付時間
9月24日(金)	道の駅国見あつかしの郷	午前10時～午後4時



インフルエンザ予防接種費用助成のお知らせ

町では、高齢者・お子さん(高校3年生以下相当)・妊婦の方を対象に、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。接種を希望される方は、事前に医療機関に予約をお願いします。

【対象者・自己負担金等】

	高齢者インフルエンザ	小児・妊婦インフルエンザ
対象者	①接種時65歳以上の方 ②接種時60歳以上65歳未満の方で、心臓・腎臓・呼吸器などに慢性的重い障害があり、身体障害者手帳1級に相当する方	①生後6か月～18歳(高校3年生以下相当)の方 ②妊婦
接種期間	10月1日(金)～12月28日(火)	
自己負担金費用助成額	自己負担金1,400円(生活保護世帯は無料) ※福島県立医科大学付属病院で接種する場合は異なります	費用助成額:1人1,000円(1回のみ) (生活保護世帯の方は全額助成) 自己負担金:医療機関の接種料金から助成額を差し引いた金額をお支払いください。
実施医療機関	県内の実施医療機関で接種できます。	福島市・伊達市・伊達郡の実施医療機関で接種できます。

保健だより



ほけん課 保健係 ☎585-2783
E-mail:hoken@town.kunimi.fukushima.jp

9月24日から30日は結核予防週間です

結核は過去の病気ではありません。福島県内では、令和元年に128名の方が新たに結核を発症しています。そのうち、約6割が65歳以上の方です。

結核は、人から人にうつる感染症で、自分が結核だと気づかず周りの人にうつしてしまうことがあります。早期発見・早期治療により治すことができますので、結核に関心を持ち、正しい知識を身につけましょう。

- 結核の予防は?**
- ☑ 長引く咳、タンが出る、長引く(体の)だるさ、長引く微熱、胸の痛み、体重減少がみられたら、すぐに病院を受診しましょう。
 - ☑ 65歳以上の方は、年に1回胸部レントゲン検査を受けましょう。
 - ☑ 生後1歳までにBCG接種を受けましょう。
(BCGは、早期に結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です)

9月は食生活改善普及運動と健康増進普及月間です

みなさん、「食塩」摂りすぎてますよ!

【令和3年度特定健診結果より、約9割の方が1日の食塩摂取基準量を超えていることがわかりました】

1日あたりの食塩摂取量の目安/男性**7.5g** 女性**6.5g**

※日本人の食事摂取基準量(2020年版)

7月に「ヘルシークッキング教室」主宰、管理栄養士の橋本ヨシイ氏を講師に減塩料理教室を開催しました。その中で好評だった減塩レシピを紹介します。ぜひお試しください。

減塩レシピ

「タコとワカメの緑酢」

材料 (2人分)

- 真ダコ(刺身用) … 80g
- 生ワカメ(塩蔵) … 10g
- おろし生姜 … 少量
- キュウリ … 1本
- A { 米酢 … 大さじ1と1/2
砂糖 … 大さじ1/2
塩 … ひとつまみ

作り方

- ①ボウルにAの甘酢を合わせ、小鍋にお湯を沸かしておく。
- ②ワカメは洗って塩を落とし、熱湯をくぐって冷水に取り、食べやすい大きさに切る。
タコは塩(分量外)でこすり、水洗いをして熱湯をさっとくぐす。
食べやすい大きさに切ってAの甘酢に漬けておく。
- ③キュウリをすりおろしてザルに入れ軽く水気を除いて、タコの入ったボウルに入れる。
ワカメも加えて全体を和える。(※甘酢に早くからキュウリやワカメを入れない)
- ④小鉢に汁ごと盛り付け、上におろし生姜をのせる。



エネルギー	69Kcal
たんぱく質	9.2g
脂質	0.3g
食塩相当量	0.7g

生涯学習 つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
 (観月台文化センター)
 ☎(585)2676 FAX(585)2707
 E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
<https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/>

リュック じかん LYKKE 時間

第30話「不便を楽しむ時間」

北欧では自然環境を積極的に保育に取り入れています。でこぼこ道や木登りの木々、落ち葉の絨毯など魅力的な自然環境ですが、不便な一面もあります。自然の中で保育を営む場合、トイレはどうなのでしょう？雨風をしのぐ場所はあるのでしょうか？そんな質問に、北欧の先生たちは笑いながら、こう答えます。「不便さも楽しむ！子どもと大人で知恵を出し合えば何とかなる！」その言葉通り、森の中を駆け回る子ども達の傍らには、“持ち運び便座”や“簡易雨やどり場”が設置されていました。不便さをも楽しむ、たくましい北欧の人々です。



保育者や保護者、子ども達で考えた“森の雨やどり場” (デンマーク)

文：柴田千賀子 (国見町出身の保育研究者。仙台大学教授)

雄大な景色を一望

町民ハイキングと夏山を楽しむ



講師の説明を聞く参加者たち

町民ハイキングが7月25日に行われ、参加者15名が山形県長井市と飯豊町にまたがる熊野山の自然を楽しみました。長井市を拠点に四季折々の自然体験活動を企画する「葉っぱ塾」代表の八木文明氏を講師に、一望できる山々や集落模様、植物などの案内を楽しみつつ大粒の汗を流しながら山頂を目指しました。展望所から望む長井ダムや祝瓶山は絶景で、山頂からは置賜盆地や吾妻連峰も眺めることができました。



展望所から望む絶景

帰路に就く前には、真夏の登山で疲れた体を温泉で癒し、立ち寄った道の駅「川のみなと長井」で散策を楽しむなど、長い夏の日を満喫しました。

福島復興からの足跡をたどる

「国見ジュニア応援団」体験学習



発電実験を行う団員たち

「国見ジュニア応援団」の第3回活動が7月25日に行われ、三春町のコミュニティセンター福島と福島さくら遊学舎を見学し、体験学習を行いました。



映像による学習

コミュニティ福島ではショートムービーを鑑賞し、東日本大震災から復興までの足跡や環境の未来について学習。太陽光を使った発電実験も体験しました。福島さくら遊学舎ではアニメ作品と連動した展覧会やワークショップを見学し、アニメーションの作品や作り方について楽しみながら学習しました。

認知症に対する理解を深めました

夏休み青少年ボランティア講座 「認知症サポーター養成講座」



高齢者疑似体験で理解を深めました

国見町青少年育成町民会議主催の「認知症サポーター養成講座」が8月3日に行われ、小中学生9名が参加しました。活動では町の高齢化の現状や認知症の基礎知識について学習した後、ゴーグルや重りを利用して、視力・聴力低下や半身まひを体験することなどで、相手の身になったサ

ポートを学びました。

子どもたちからは「認知症の人はこんなに大変なのか」「家に帰っておじいちゃん、おばあちゃんを助けてあげなきゃ」との発言があるなど、体験をすることで認知症についての理解をより深めた様子が見受けられました。講座の受講により、新たに9名の認知症サポーターが誕生しました。

仲間たちと「絆」を深めました 少年仲間づくり教室 「安達太良ハイキング」



仲間たちとの「絆」が深まりました

少年仲間づくり教室「安達太良ハイキング」が7月29日に行われ、小学4年生から6年生までの教室生23名が参加しました。前日までの悪天候により開催が危ぶまれましたが、当日は予定通りの行程で活動することができました。足元がぬかるみ滑りやすかったり、道が

細くロープが張られていない箇所もありましたが、教室生の頑張りにより無事に下山することができました。教室生からは「思ったより大変で疲れた」との声もありましたが、「ロープウェイが楽しかった」「本当の汗をかいた」などの感想もあり、仲間たちと活動をやり遂げ、達成感を味わったことは貴重な経験となりました。

屋内プールで泳力向上!! 短期スイミングスクール



まずは水に慣れる練習から始めます

7月26日から29日までの4日間、短期スイミングスクールが伊達市のスイミングスクールほばらで行われ、小学1年生から5年生までの児童21名が参加しました。スクールではそれぞれの泳力に合わせた4つのクラスに分かれ、水に慣れる練習や泳ぎのフォームの練習など、泳力向上に向けて各インストラクターがレベルに応じた指



インストラクターの熱心な指導

導を行っていました。

27日は台風の影響により中止となり、3回の開催となつてしまいました。短期間にもかかわらず、子どもたちは確実に泳ぎを上達させていました。

親子で協力してミニバスケット作り 子育て応援講座 「夏休み親子エコクラフト教室」



親子で協力してミニバスケットを作りました

「夏休み親子エコクラフト教室」が7月31日に観月台文化センターにて行われ、7組の親子14名が参加しました。

桑折町のgenerator佐藤千夏氏を講師に迎え、エコクラフトによるミニバスケット作りを行いました。

子どもたちは真剣な顔つきで講師の説明を聞き、親子で協力しながらミニバスケット作りを楽しんでいました。完成したミニバスケットに子どもたちは目を輝かせ、「スマホ入れに使おう」「お菓子を入れるバスケットにしよう」など、使い道を親子で話しながら過ごしました。

お知らせ

重度心身障害者医療費助成受給者証の更新はお早めに

重度心身障害者医療費助成の受給者は、9月に必要書類を提出し、受給者証を更新する必要があります。該当者には個別に通知を送付していますので、送付のあった人は9月30日まで（土日祝日は除く）に手続きを行ってください。

手続きをしない場合、10月以降医療費の給付が受けられなくなりますので、ご注意ください。

☎ 585 - 2793

新成人を迎えるあなたへ 令和4年成人式 実行委員募集!!

一生に一度の成人式を思い出深いものにするために、ぜひ応募ください。

実行委員には、成人式運営に関する意見をいただく

あなたの大切な「遺言書」を法務局で預かりします

令和2年7月10日から、自筆証書遺言書を作成した本人が、法務局に遺言書の保管を申請することができ、この制度が始まりました。

この制度は、遺言書保管所（法務局）において、遺言書を大切に保管します。紛失や亡失の防止、第三者による破棄や改ざんなどの心配がないほか、遺言者が亡くなられた後の手続きとして、相続人等は、各遺言書保管所に保管中の遺言書の内容の証明書を請求したり、遺言書の閲覧をすることもできるなど、遺言者だけでなく、相続人や受遺者等にもメリットのある制度です。

制度の利用に係る詳細は、法務省のホームページ又は福島地方法務局供託課まで問い合わせください。

☎ 534 - 1111

ほか、式典での役割を願います。実行委員会議は10月中旬に開催予定です。

▼申込締切 9月22日（金）

【令和4年成人式】

▼式典日時 令和4年1月9日（日）午後1時30分（予定）

▼会場 観月台文化センター1・ホール

▼該当者 平成13年4月2日〜平成14年4月1日に生まれた方

※詳しくは、広報10月号でお知らせします。

☎ 585 - 2676

多重債務・貸金業に関する相談窓口

財務省福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々の相談に応じたいと考えています。借金状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引継ぎを行います。秘密厳守、相談無料です。気軽に相談ください。

また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわ

筆界特定制度と土地家屋調査士会ADR制度

福島地方法務局と福島県土地家屋調査士会では、連携して境界問題の解決を支援します。

▼筆界特定制度（筆界を明らかにします）

法務局職員が、専門家の意見を踏まえて、申請者などの意見に拘束されずに、真実の筆界を特定します。※明け渡しなどの所有権に関する問題を直接解決することはできません。

▼土地家屋調査士会ADR制度（境界問題全般を解決します）

土地家屋調査士及び弁護士が相談・調停を行い、柔軟に解決の手伝いをします。※相手方の応諾がないと手続きを進めることができません。

☎ 534 - 2048

☎ 535 - 3937

ゆる「ヤミ金融」業者には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや、不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

▼相談窓口 福島市松木町13-2 福島財務事務所 財課

▼受付時間 平日（祝日、年末年始除く）午前8時30分〜正午、午後1時〜午後4時30分

☎ 533 - 0064

財務省福島事務所 「出前講座」のご案内

財務省福島財務事務所では、地域のコミュニティ活動や各種団体の会合などにお伺いし、「おこづかい帳をつけよう（小学生向け）」「家計管理と資金計画（子育て世代向け）」「金融犯罪（なりすまし詐欺等）被害防止（高齢者向け）」など様々なテーマで出前講座を行っています。

費用は一切かかりませんので、気軽に問い合わせください。

☎ 535 - 0301

10月1日から7日は「公正週間」です

公正証書は、公正証書が大切な遺言・契約の公正証書の作成、確定日付の付与、私文書の認証など、国の公正証書に関する事務を取り扱う制度です。公正証書に書かれている内容は、裁判その他の面が高い証拠力が与えられます。また、公正証書には「執行力」があり、金銭に関する契約で相手が約束に反して金銭の支払いをしなかった場合、裁判抜きで相手の財産に対し強制執行ができます。

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産賃貸、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを

防止し、権利や財産を守るができます。

相談は無料です。気軽に相談ください。

☎ 521 - 2557

電話による登記手続き案内の事前予約

また、登記手続き案内は完全予約制です。利用を希望される方は事前に予約をお願いします。

▼案内の内容 申請書の書き方、必要な書類等についての一般的な説明を行うこととで、事前の審査や法的判断の助言は行いません。

▼予約受付時間 平日の午前8時30分〜午後5時15分

☎ 534 - 1094

令和3年9月教育委員会定例会

9月の教育委員会定例会は次のとおりです。

◆日時 9月15日（水）午前10時から

◆場所 県北中学校

※会場が中学校のため、新型コロナウイルス対策から入場を制限します。傍聴希望の方は事前に連絡ください。

☎ 585-2892

農業委員会

9月の農業委員会定例総会は次のとおりです。傍聴においでください。

◆日時 9月15日（水）午後1時30分から

◆場所 役場2階 大会議室

☎ 585-2890

10月の各種相談会

- 『心配ごと相談』
 - ◆日時 10月14日（金）午前9時〜正午
 - ◆場所 観月台文化センター 第2和室
 - ◆相談員 民生児童委員
- 『障がい者相談』
 - ◆日時 10月19日（水）午前10時〜午後4時
 - ◆場所 観月台文化センター 第2和室
 - ◆相談員 NPO法人「ひびきの会」
- 『国見町結婚世話やき人 月例相談会』
 - ◆日時 10月24日（日）午前10時〜午後3時
 - ◆場所 観月台文化センター 第2研修室

※秘密は厳守、相談無料です。

☎ 585-2793



広報くみに & 町ホームページに 広告を掲載してみませんか？

町では、広報くみにや町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。詳しくは問い合わせください。

申込期限（10月号掲載分）：9月17日（金）まで

広報くみに	
1 枠（縦 45 ^{ミリ} ×横 174 ^{ミリ} ）	12,000 円 / 1 回
半 枠（縦 45 ^{ミリ} ×横 84 ^{ミリ} ）	6,000 円 / 1 回
ホームページ	
1 枠（トップページ下段）	6,000 円 / 月

☎ 585-2113

- 9/10 金 ・広報くにみ9月号発行日
・いきいきサロン第8・9（午後1時半～）
- 11 土 ・県芸術祭リハーサル、国見っ子わんぱく広場
少年仲間づくり教室、市町村軟式野球1回戦
- 12 日 ・県芸術祭
・いきいきサロン泉田下（午前10時～）
山崎（午後1時半～）
- 13 月
- 14 火
- 15 水 ・粗大ごみ収集日
・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
- 16 木 ・いきいきサロン第2（午後1時半～）
- 17 金 ・いきいきサロン大木戸（午後1時半～）
- 18 土 ・子ども司書講座
- 19 日
- 20 月 ・敬老の日
・いきいきサロン山根（午前10時～）
徳北・第7（午後1時半～）
- 21 火 ・障がい者相談
- 22 水 ・イキイキ子育てクラブ
・秋分の日
- 23 木 ・ジュニア応援団
・いきいきサロン源宗山（午前10時～）
光明寺（午後1時半～）
- 24 金 ・心配ごと相談
- 25 土
- 26 日 ・結婚世話やき人相談会
・国見町・桑折町青少年健全育成剣道大会
- 27 月 ・いきいきサロン板橋（午前10時～）
高城（午後1時半～）
- 28 火 ・いきいきサロン石母田（午後1時半～）
- 29 水 ・いきいきサロン貝田（午後1時半～）
・阿津賀志学級県交通安全防犯標語作品審査会
・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
・乳幼児健診（3・9か月）
・いきいきサロン大枝（午前10時～）
泉田中（午後1時半～）
- 30 木 ・ブックスタート
- 10/1 金 ・いきいきサロン第4（午後1時半～）
- 2 土 ・子ども司書講座
- 3 日 ・市町村ソフト団結式
・いきいきサロン川内（午後1時半～）
- 4 月 ・休館日
- 5 火 ・いきいきサロン内容・鳥取（午後1時半～）
・乳幼児健診（3歳6か月）
- 6 水 ・子育て学習講座
・戸籍窓口延長日（午後7時まで）
- 7 木 ・いきいきサロン塚野目（午後1時半～）
・3学級合同食育セミナー
- 8 金 ・いきいきサロン第8・9（午後1時半～）
- 9 土 ・少年仲間づくり教室、国見っ子わんぱく広場

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため記載の各種事業やイベントなどが中止・延期となる場合があります。最新情報については町ホームページ又は担当課などで確認してください。

10月の休日当番医（診療時間：午前9時～午後5時）

当番日	医療機関名	電話番号
3日(日)	梁川病院 (伊達市梁川町東土橋8)	☎ 577-2155
10日(日)	(医) せきね医院 (伊達市月館町月館字町36)	☎ 572-2333
17日(日)	佐藤整形外科内科クリニック (伊達市保原町東野崎70-1)	☎ 572-7606
24日(日)	さとうファミリークリニック (伊達市保原町上保原中島8-5)	☎ 574-2811
31日(日)	(医) 阪内医院 (伊達市梁川町青葉町97)	☎ 577-2222

※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

7月21日～8月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

- 誕生おめでとう ●
 - 菊地 真斗ちゃん (第11)
 - 政之さん 沙織さん
- 結婚おめでとう ●
 - 浅野 和哉さん (山崎北)
 - 佐藤 久美子さん
- おくやみ申し上げます ●
 - 阿部 晴己さん 71 (宮町北)
 - 伊東 正さん 96 (駅前)
 - 佐々木敏夫さん 83 (石母田西)
 - 阿部 仁さん 74 (駅前)
 - 齋藤 幸子さん 86 (川内)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和3年7月31日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,694人	(-6)
男	4,173人	(-6)
女	4,521人	(±0)
世帯	3,419世帯	(-2)

今月の納期

納期限：9月30日(木)

固定資産税	第3期
国民健康保険税（普通徴収）	第3期
後期高齢者医療保険料（普通徴収）	第2期
介護保険料（普通徴収）	第3期

戸籍窓口延長

毎週木曜日（祝日などは除く）は住民防災課戸籍係窓口業務を午後7時まで延長しています。

《交付できる証明書等》
住民票・戸籍証明書・印鑑登録証明書の交付、印鑑登録、戸籍の届出、マイナンバーカードの申請・交付

☎ 住民防災課戸籍係 ☎ 585-2115

『広報くにみ』をもっと身近に！

スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に「広報くにみ」を読むことができるよう「マチイロ」「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ、活用ください。

マチイロ

マチを好きになるアプリ

App Store からダウンロード | Google Play で手に入れよう

\ダウンロードはこちら/



- ☑ スマートフォンやタブレット端末専用のアプリ。広報紙のページそのままのレイアウトで、ページをめくる感覚で読むことができます。
- ☑ 初期設定でお住まいのエリアを「福島県国見町」に設定すると、広報紙のほかに町ウェブサイトの新着情報なども届きます。
- ☑ 配信対象：広報くにみ、議会だより

マイ広報紙

市区町村の広報紙をネットやスマホで

\ホームページにアクセス/



- ☑ 広報紙の記事カテゴリごとに分割してデータ化し、インターネットで無料配信するサービス。
- ☑ 写真やイラストは表示されないため、記事(文章)のみを読みたい場合に適しています。
- ☑ 配信対象：広報くにみ、お知らせ版



素敵な「夏の思い出」ができました

広報くにみ9月号をお読みいただきありがとうございます。今月は「国見町希望の光プロジェクト2021」取材しました。歴代の広報担当者にも協力を仰ぎ、町内3か所から同時に打ち上がる花火を撮影しました。初めての花火撮影でしたが、なんとか撮影を終えることができました。

また、町内の皆さんにも協力いただき、自宅近くやベランダから見上げる花火とその様子を写真に収めることができました。

特に表紙の二人には、浴衣を着たままで長時間の撮影でしたが、最後まで笑顔でお付き合いいただきました。手持ち花火の撮影にもお邪魔させてもらいましたが、二人が仲良く顔を見合せて、楽しそうに花火をする姿を見ていると、こちらも自然と笑顔になりました。

編集後記

国見の輝き人

ジェラートを通じて「絆」を結びたいー

齋藤 ^{れな} 礼奈さん(左) 阿部 ^{あんな} 杏奈さん

お店を開こうと思ったきっかけは、沖縄の国際通りにあるジェラート店で食べた味が衝撃的だったことです。まるでフルーツそのものを食べているかのようで、本当に驚きました。もともと沖縄が好きで、よく旅行で訪れていたのですが、そのジェラートを食べるために年に4、5回も沖縄へ行くようになりました。そんな時、そのお店の店長さんから「そんなに好きなら自分で作ってみたら？」と言われ決心しました。

開店するにあたり、「国見町で」という思いがありました。除染作業に従事していた時に風評被害の現状を目の当たりにして、自分たちで風評被害を払しょくしたい、町の素材を使用してジェラートを作ること、国見町をPRしたいという思いが強くなりました。

一番こだわっているのは、「素材そのものの味を出すこと」です。特に桃は何度も失敗し、絶対に無理だと思っていました。ですが、約2年ほど試行錯誤を繰り返し、納得のいくものが完成しました。



色鮮やかなジェラートがたくさん!!

私たちが作っているジェラートは、素材の味を感じてほしいので、添加物を使用していません。農家さんたちが素材に込めた思いを、ジェラートという形にしてみなさんにお届けすることが役目だと思っています。また、お客さまがいつも温かく接してくれることが本当に嬉しいです。これからもジェラートを通じて、人とのつながりをたくさんつないでいきたいと思っています。



齋藤礼奈さんが店長を務める「Gela319」は「齋久設備」敷地内に2018年8月にオープン。礼奈さんは沖縄の有名ジェラート店で腕を磨きました。従業員の阿部杏奈さんと素材を生かした新しい味の開発に向けて日々研究中。

町長
コラム



ま
真こらむ

【第2回】

お待たせしました「放課後塾ハル」始めました

もっと勉強したいのに親の負担を考えると塾には行けないなあ。そもそも近所に塾がない…。日本にはこういった格差があります。そして、格差の影響は子どもたちの学力や生きる力に表れます。

どこに生まれようが、誰のもとに生まれようが、子どもは等しく尊重され、同水準の教育を受けるべきです。私たち大人には、子どもたちの「好き」と「面白そう」に一所懸命になれる環境を整える責任があります。町が開塾する「放課後塾ハル」は、その取り組みの一つです。中学3年生から小学5年生までの子どもたちを対象にします。

この塾が用意したたくさんの「好き」と「面白そう」の扉を開けた子どもたちは、どんな夢を描くのかなあ。そして実現していくのかなあ…。焦らず、急かさず、見守ることとします。

引地 真

